

令和4年度 第1回羽島市幼保小連携推進協議会

日 時	令和5年1月13日(金) 13時30分～15時30分
場 所	羽島市役所本庁舎 3階 302会議室
出席者	<p>【委員】 西川委員長、安藤(理)副委員長、高砂委員、安藤(賢)委員、吉田委員、木下委員</p> <p>【事務局】 (教育委員会) 森教育長、今井田事務局長、南部学校教育課長、中村同課幼児教育係長、豊島同課教員研修・学校支援専門員</p> <p>(健幸福祉部) 横山子育て・健幸担当部長、熊崎次長兼子育て・健幸課長 小森同課幼保支援係長</p>
内 容	<p>1 委嘱書交付 2 開会 3 委員紹介 4 委員長・副委員長選出(西川委員長、安藤(理)副委員長) 5 諮問 6 議事(議事進行を委員長に依頼) 事務局より資料を用いて説明を行う。 (1) 羽島市における幼児教育の現状と協議会の協議内容について(資料1) (2) 協議会スケジュールについて(資料2) ※各委員より、議事(1)(2)やそれぞれの立場からの幼保小の連携の現状について意見を交流する</p> <p>【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校入学に際して不安を感じていたり、ストレスを抱えたりしている園児がいる。コロナ禍で、園児と児童が交流しにくいことが理由の一つであり、早く以前のような幼保小の交流を行いたい。 ・幼稚園での学びがあっても小学校では、1年生は一番年下でゼロスタートになってしまう。園と小学校が、一緒に研修していく場を作るとよい。 ・非認知能力を幼保小連携で高めていくことで、たくましく生き抜く力をつけた子供が育成できるのではないか。 <p>【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼保小の連携の現状は、引き継ぎが中心である。職員が小学校を知る機会を

作っていけるとよい。

- ・園の現状としては「幼児期の終わりまでに育てほしい姿」に目を向け、子供の姿を分析したり課題を見つけたりしている。

【委員】

- ・幼稚園から小学校に上がる時、小学校のシステムが分からず不安である。保護者も小学校について気軽に聞ける機会があると安心する。
- ・園児と児童が触れ合う時間を作ってもらえるとありがたい。園児は小学校の生活のリズムもつかめるし、児童の自立にもつながる。

【委員】

- ・保育園、認定こども園11園のそれぞれの考え方や特徴がある中で、協議会での考えや意見をどうフィードバックしていくかは課題である。
- ・小学校と園では「遊び」に対する認識が違う。お互いの教育・保育の内容の理解を深める必要がある。

【委員】

- ・このような会議が開催されることは非常に進歩である。小中の連携というのは進んでいるように思うが、幼保小の連携となると難易度は高いのではと感じている。
- ・平成29年に、学校教育法や保育所保育指針が見直された。小中学校の多くの教職員にも、そのことを広く理解してほしい。
- ・架け橋プログラムの作成については、先進的な自治体の実践を参考にするとよいのではないか。この協議会が、実際の教育に反映されるように進んでいくことを願っている。

【委員】

- ・これからの会議で、幼児期の教育の現状、幼児教育の本質、小学校への不安、保護者への啓発などについて、具体的なプランに反映させていくとよい。

7 講話

「幼児教育における今日的課題について」 （西川委員長より講話）

※ 各委員が講話の感想を述べる。

【委員】

- ・小学校教員が、幼児教育のことをもっとよく知り円滑に小学校と接続できれば、子供が不安を感じることなく、学校生活を送ることができるのではないか。

【委員】

- ・小中学校は单元ごとの目標があり評価するが、幼児教育は到達目標で教育していない。今回のような講話を通して、小中学校の教職員に啓発することが

大切である。

【委員】

- ・ 小学校の教職員はよくやってくさっている。一方で園の職員も、子供たちのために研修している。この協議会で努力していることが噛み合っていくと幼保小の連携は絶対によくなる。
- ・ 幼保小の接続はこれからできていくと思うが、各保育園、認定こども園の連携をどうしていくべきか教えてほしい。

【委員】

- ・ 公開保育を継続的に続けていくことが大切である。10年ほど羽島市の保育園、認定こども園にかかわっているが、かなり変わってきたと思う。
- ・ 非認知能力が育ったという前提で小学校の学習指導要領が組み立てられている。幼児教育を踏まえたプランを確立していくとよい。

【委員】

- ・ 保護者にも、幼児教育について話を聞く機会があるとよい。

【委員】

- ・ 幼児教育は、子供自身がどう揺さぶられ、どう環境に主体的に関わるかが大事である。そして遊びを通して文字や数字等の関心・感覚を集め、小学校の教育につなげるようなプランが羽島市でできるとよい。

【委員】

- ・ 保護者にも幼児教育の本質について分かっただき、保護者の理解も得ながら協議会の出口に向かっていきたい。